

## 2.1.4 地形及び地質の状況

### 2.1.4.1 地形

五木村及び相良村の地形の状況は図 2.1.4.1-1 に示すとおりである。ほとんどが山地であり、大起伏山地が最も大きな面積を占めている。一方、球磨川に近い低地では砂礫台地、ローム台地が分布する。

球磨川や川辺川は山地を横切って流れる先行河川で、下刻された先行谷として急峻な地形をなしている。

なお、以下に示す①～④により五木村及び相良村における重要な地形を選定したところ、表 2.1.4.1-1 に示すとおり、カルスト地形である天狗岩及び準平原遺物の 2 箇所が該当した。これらの位置を図 2.1.4.1-2 に示す。

以後、「重要な地形」「重要な地質」「重要な種」及び「重要な群落」とはそれぞれ学術上または希少性の観点から重要なものをいう。

①「文化財保護法(昭和 25 年法律第 214 号)」、「熊本県文化財保護条例(昭和 51 年熊本県条例第 48 号)」により天然記念物に指定されているもの

②「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約(平成 4 年条約第 7 号)」により自然遺産に指定されているもの

③「自然環境保全法(昭和 47 年法律第 85 号)」により地形もしくは地質が特異であるために指定された自然環境保全地域

④「自然環境保全調査 熊本県 すぐれた自然図(環境庁、昭和 51 年)」に記載されているもの

表 2.1.4.1-1 重要な地形

No.	名称	選定根拠 <sup>1)</sup>			
		①	②	③	④
1	天狗岩				○
2	準平原遺物				○
計	2	0	0	0	2

1) 重要な種の選定根拠は以下のとおりである。

①「文化財保護法」、「熊本県文化財保護条例」により天然記念物に指定されているもの

特:国指定特別天然記念物 国:国指定天然記念物 県:県指定天然記念物

②「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」により自然遺産に指定されているもの

③「自然環境保全法」により地形もしくは地質が特異であるために指定された自然環境保全地域

④「自然環境保全調査 熊本県 すぐれた自然図」に記載されているもの

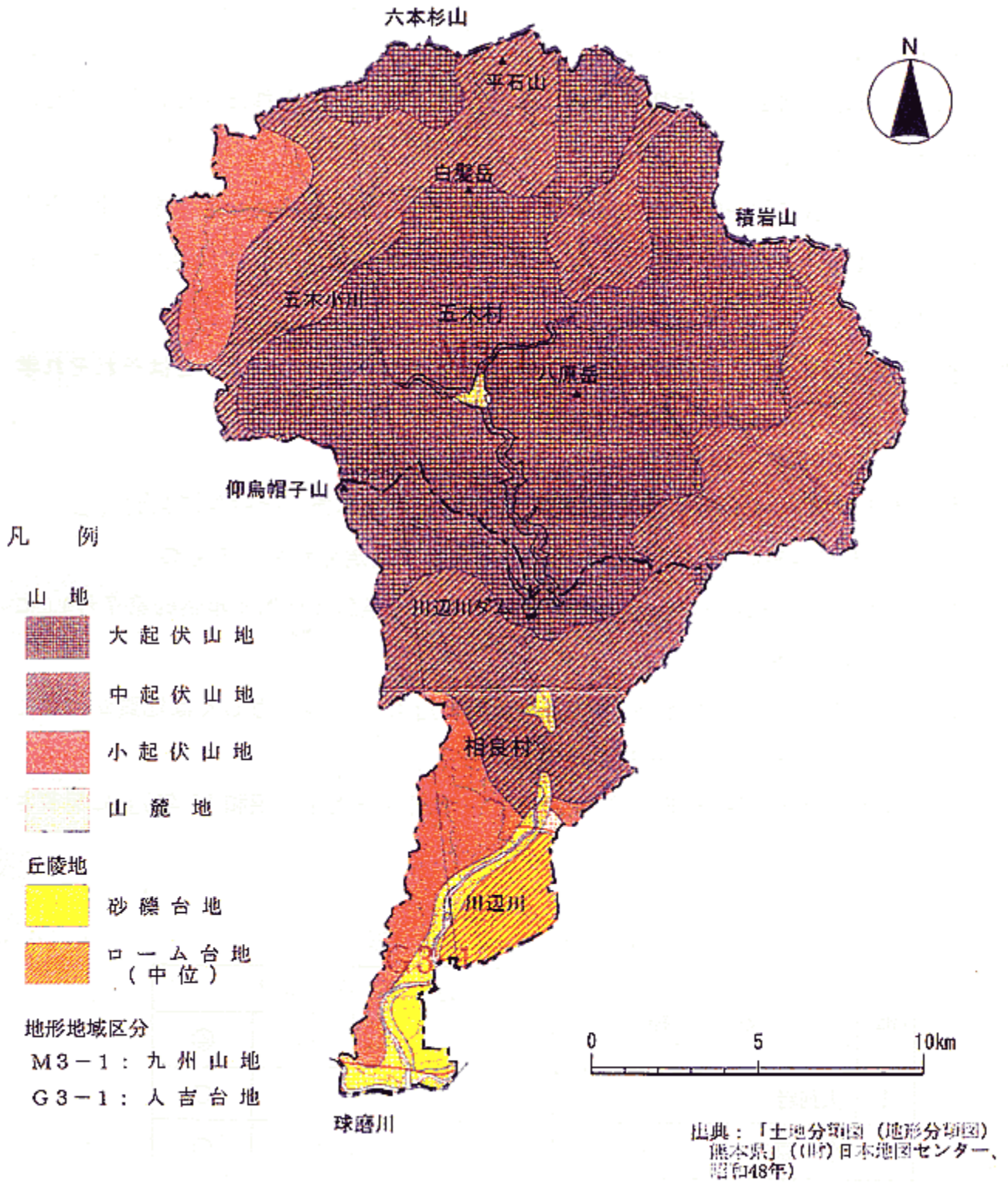


図 2.1.4.1-1 地形の状況



図 2.1.4.1-2 自然環境保全調査における地形・地質の分布

出典：「自然環境保全調査 熊本県すぐれた自然図」（環境庁、昭和51年）